

# シトラスリボンプロジェクト普及活動を市長に報告 ～藤枝中特別支援学級在籍生徒から始まった活動～

## 市長に普及活動を報告

2月3日(水)、市内各地でシトラスリボンプロジェクトの普及活動を行っている、藤枝中学校の生徒5名が市役所を訪れ、北村市長にシトラスリボン約100個を手渡すとともに、これまでの活動を市長に報告しました。



戸塚菜美さん(3年)は、「リボンを手渡すと感謝の気持ちを伝えてもらったことがうれしかったです。」、山本和来人さん(3年)は、「これまで約30軒のお店に設置をお願いしました。藤枝市を明るくするためにこの活動を続けていきたいです。」と活動を振り返りました。

北村市長は「これからも人が喜ぶことを考えて、誰かのためになることができる人になっていってください。」と語りました。



## シトラスリボンプロジェクトとは

感染者の有無に関わらず、「ただいま」「おかえり」と言い合える人の輪、暮らしやすい地域を作ることを目的に愛媛から始まった活動です。シトラス色(柑橘をイメージ)のリボンや紐で、3つの輪(地域・家庭・学校や職場)を作り、身に着けることで賛同の気持ちを表します。



## 藤枝中これまでの普及活動

藤枝中学校では、10月の学校保健委員会で全生徒がシトラスリボンを作成。その後、特別支援学級在籍生徒が「感染者への差別をなくし、医療従事者へ感謝を伝えるためには」と考え、作成したリボン市内各地で配布しながらプロジェクトを普及することとなりました。

これまでに藤枝駅や市立総合病院、各商店などに1,000個以上のリボンを配布しています。



▲藤枝駅での配布

▼市立総合病院訪問

